

# Victory

NO.7

令和7年10月

宮崎県立宮崎西高等学校・附属中学校図書館

\*学校HP>学校図書館>#図書館の日常随時更新中

10月後半に入り、急に「寒さ」を感じるようになります。体調を崩していませんか？ここから一挙に季節は移行していくのでしょうか。



さて、昼休みの図書館は、高校3年生の姿が多く見られます。窓側カウンター席は、「個」の時間を確保するのに人気なスペースのようです。

放課後には、それに加え6人掛けのテーブルの一角で小論や面談等について助言指導を受けている光景や小論対策コーナーで関連図書を探す姿など、いつもの図書館利用に加え増えています。

緊張感をもった彼らの姿は、他学年にもいい刺激になっていることを毎年のことながら感じます。

この季節は、何をするにもいい季節です。充実したひとときを過ごしたいものです。もちろん、読書の秋も満喫しましょう。



## 受験のサポート致します。第2弾

先月に引き続き「進路コーナー」のお知らせです。いよいよ「小論文を書くために読んでおきたい本」の準備が完了しました！新書を中心に系統別に配架しています。図書館Classroomにもリストを添付しますのでアクセスし、または直接来館して本を確認して下さい。ぜひ、活用しましょう。



現在準備中

## はたらく！図書委員会

10月27日から11月9日の2週間は「全国秋の読書週間」です。

毎年、この時期に本校図書館も読書啓発を行っています。



今回は、こんな企画を準備中です。

- ◎文豪紹介展示「夏目漱石」（高2担当）、「志賀直哉」（高1担当）
- ◎私たちにできるボランティア～古本市益金を寄附したシャンティ国際ボランティア会から4つの視点で、本とPOPで紹介展示
- ◎冬の上映会に向けて、アンケート実施（Googleフォーム）
- ◎オリジナルしおりを作ろう！（読書週間中の昼休み・放課後）
- ◎豆本を作ってみよう（放課後・要申込：定員8名）

\*豆本作りの申込は、カウンターまで。



↑高2「夏目漱石」班



←テーマ関連図書  
内容を精査するために  
マッピングで可視化→



↓高1「志賀直哉」班



グループごと  
のテーマ設定  
↓

↑  
各種委員会活動の様子



# 『放課後哲学カフェ（対話）』を実施しました。



日時： 10月17日（金）、場所：図書館ブラウジングスペース

第一回目の今回は、7名の生徒（内1名オーディエンス）、3名の大人が参加しました。テーマは、一人ひとりの身近なモヤモヤの中から2つのモヤモヤを選び自分が感じること、考えたことを聞き合いました。

今回出てきたモヤモヤは…

①\*知り合い、友達、クラスメートの違いって？

\*モヤモヤ…あんまり思いつかないことがモヤモヤ

②\*自分の物欲に俗っぽさを感じて我慢、でもほしいんだよね…

\*最近読んだ本のテーマ「異種移植」について聞いてみたい

\*片付けられない、決めたことがなかなか続かない…悩ましい

\*授業中、ふとした瞬間に感じる自分と他者のツボの違いに戸惑う

\*本気モードになりきれない自分がいたい…



どのモヤモヤも聞き合いたいテーマ。その

中から①と②について対話をしました。それぞれの言葉がポツリポツリと出る中から、①の対話で拾い上げた言葉を一部紹介します。

◎「相手の趣味や好きなことを共有できるのが知り合いとは違うのかな」

◎「旅行してお土産を渡したいと思う相手？」

◎「友達の枠は広い、でもその中で親しい人は少し」

◎「自分は友達だと思っていても、相手の気持ちを確かめるのは難しい」

◎「素直に自分の気持ちを伝えられるのが親友かも」

など、話している内に誰かの言葉から思いも寄らない新たな問いへの展開につながるおもしろさ、そ



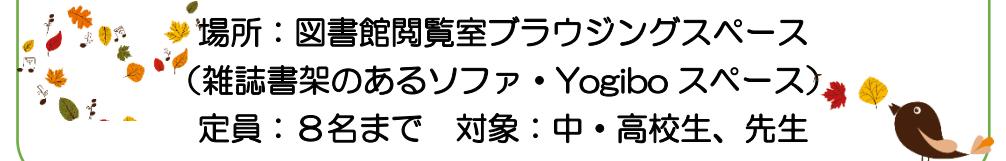
して、対話と対話の間の静かな沈黙も心地よく、奥深さを感じるひとときでした。とはいえ、哲学対話のもう一つの約束は「時間が来たらサッと終わる」です。これがまた新たなモヤモヤした問いを育む効果を發揮。

今回参加してくれたみなさん、ありがとうございました。

次回は11月を予定しています。日程が確定したらお知らせします。

興味のある人、聞くだけでもOKです。参加をお待ちしています。

日時：11月どこかの金曜日予定 16:30～17:50



場所：図書館閲覧室ブラウジングスペース

（雑誌書架のあるソファ・Yogibo スペース）

定員：8名まで 対象：中・高校生、先生

## 新刊コーナー「こんな本が入っています。」

ほんの一部紹介します。読書の秋のお供にどうぞ。

『深遠なるインド料理の世界』 596コ

小林真樹著（産業編集センター）

インドの雰囲気が大好きな著者がいつしかインドの味に目覚め、気づけば30年以上通い続ける現地で覚えた料理や味、来歴がギュッと詰まったマサラのよう

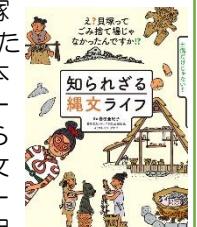


『知られざる縄文ライフ』 210コ

譽田亜紀子著（誠文堂新光社）

土偶、竪穴式住居、貝塚

…1万5000年前に生きた先祖の営みを改めてこの本で共有しよう。縄文人の一生から彼らのすがた、暮らし、食、祈りを通して縄文ワールドへご招待。シリーズに古墳、弥生、マヤ文明。



『動物の看護師さん 動物・飼い主・獣医師さんをつなぐ6つの物語』 649ヤ

保田明恵著（大月書店）

2019年6月に国家資格となった愛玩動物看護師。6名の個性豊かな現場での仕事ぶりを紹介。細やかな視点で、3者の架け橋となる彼らから命に向き合う仕事について考え方を紹介する一冊だ。



『新釈小泉八雲 怪談』 913.6ユ

雪富千晶紀著（東京創元社）

名著『怪談』から選んだ5つの話をベースに著者が創り出した新たな八雲の怪談世界は、背筋も凍るホラーとなってあなたを出口のない世界へと誘い込む。後ろを振り向くべからず。

